

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第52号



初春の候、健やかに新年をお迎えのことと思います。
日頃より、センター運営にご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
2021年、センターは、大きく変革します。



1. PFMに、より一層力を入れて取り組みます。
2. 外来棟1階の面談室が増えます。
3. スタッフ事務室が外来棟3階に移転します。

ハード面が整い、これまで以上に、院内外の関係機関と連携を密に図りながら切れ目ない支援に努めます。
引き続き、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



「外来からの入退院支援」について

PFM(Patient Flow Management)

予定入院患者さんの情報を入院前に把握して、問題解決を図ることで、入院前から退院後までの流れ (FLOW) をマネジメントすること
 →入院前の患者情報を収集し、入院後のリスクを回避していく入退院管理方法です。

<PFMの使命>

- 1) ベッドの効率的な運用と、医療の質の確保
- 2) 病床の適正な管理
- 3) 入院から退院までの流れの一貫した管理



<PFMの成果>

- ①患者さんやご家族がより安心して入院治療を受けることができる
 →「患者満足度」の向上
- ②病院内の医療従事者の負担が軽減される
- ③病院経営の改善に役立つ
- ④地域包括ケアシステムの構築に貢献する



11/27,28に一般財団法人農村保健研修センター主催の第8回『入退院支援WEBセミナー～医療の質・経営の向上を目指して～』をセンターの複数名が受講しました。入退院支援に先駆的に取り組んでいる医療機関が主催するセミナーであり、PFMを理解し組織的に取り組みたい、そのための方策とマネジメントを具体的に学びたい、当院の入退院支援の体制整備・構築の参考にし、更なる医療の質・経営の向上を目指したいと考え、受講しました。

プログラムは、「これからの病院マネジメントー急性期病院における入退院支援の必要性ー」「外来から始まる多職種連携による入退院支援と病床管理」「入退院支援に関わる管理栄養士の関わり」「入退院支援における医師事務作業補助者の役割」「持参薬管理センターの取り組み」「急性期病院における退院調整の実際」「医療の質向上につながる入退院支援と医療連携」「患者サポートセンターの効果」等、多岐に渡り、非常に充実した内容でした。

佐久医療センターの西澤延宏・副統括院長兼副院長は「外来から患者の入退院を支援するPatient Flow Management (PFM) が急性期病院の将来を救う」と述べ、外来段階で医療資源を集中投入してリスクを減らすことの重要性を強調していました。また、別の講師は、適切な入退院支援構築のためには「明確な目的と目標」「Short & Small & Start (短時間、今できること、始める)」「医師を担ぐ」「病院幹部の理解と協力」「前向きに！あきらめない！」が大事であるとエールを述べていました。当院でもPFMの導入に向けたプロジェクトが動き出します。当院のPFMはどうあるべきか、関係者皆で意見を出し合い検討し、構築していきます。



研修開催報告 * * * * *

今年度、「深めよう！がん治療中の親とその子どもへの支援」(3回シリーズ)を大学病院看護職員・テーマに興味のある方・保健学科学生を対象に、当センター・緩和ケアセンター・保健学科共催のもと、オンラインと対面のハイブリット形式で、研修会を開催しました。



- ・第1回 10月16日(金) 17:30~18:30「親子でがんに向き合う」
- ・第2回 10月30日(金) 17:30~18:30「がん治療中の親とその子どもへの支援。なぜ、必要なのか？」
- ・第3回 11月27日(金) 17:30~18:30「病院内外での支援」

第1回は体験者からの声から対象者への理解を深めました。第2回は親子が抱える困難と希望に焦点を当てながら支援の必要性を学びました。第3回は病棟や外来での看護実践例、院外での支援の一つCLIMB®プログラムを基に考えました。アンケートでは、「当事者の生の声が聞けて貴重な時間だった」「具体例が聞けて良かった」「事例や経験をもとに実践的な学びを得ることができた」等記載があり、がん治療中の親とその子どもへの支援の必要性についての具体的な情報や学びが得られた貴重な研修となりました。



「あきたがんサポートハンドブック」について

今年度、秋田県がん診療連携協議会がん患者相談部会では、「あきたがんサポートハンドブック」を作成しました。

平成27年度に作成した「秋田がん情報ガイド」の改訂版となります。QRコードを随所に盛り込み、情報が得やすいように工夫されています。県内の11拠点病院をはじめ54病院、県内25市町村や保健所、県立図書館や25市町村図書館、県医師会をはじめ看護協会、薬剤師会、がん患者団体連絡協議会等に配布しました。院内では、院内図書室、採血室に配架しています。また、秋田県がん診療連携協議会のホームページにはPDFで掲載しています。

ぜひ、手に取って、ご活用いただきたい一冊となっています。

秋田県がん診療連携協議会のホームページ：<https://www.hos.akita-u.ac.jp/onco>



もくじ

【病気や治療のこと】

1. がんと診断されたら P3
2. がん相談支援センターについて P4
3. がんになったら、どんな治療があるの？ P5
4. 秋田県のがん診療提供体制について P6
5. 治療の説明を受けるとき P7
6. 診断から治療までのチェックリスト P8
7. セカンドオピニオンについて P9
8. がんどころ P10
9. 緩和ケア～がんと診断されたその時から始まる～ P11
10. 小児がん・AYA世代について P13
11. がんゲノム医療について P14
12. 妊よう性温存療法について P15

【治療費や制度など社会的なこと】

13. 自分らしい生活の実現に向けて P17
14. 自分らしい生活を支えるサポーター P21
15. 治療を受けながら働きたい P22
16. アビダンス支援 P23

【生活のこと】

17. がんに関する情報検索のポイント P25
18. これからの暮らしを考えるポイント P26
19. 秋田県内のがんサロン一覧 P27
20. 各種情報へのアクセス P29

新しいスタッフのご紹介

金子 双葉 看護師

12月下旬より配属となりました。主に入院前支援で関わらせていただきます。患者さんやご家族の思いに寄り添い、入院生活についてはもちろんのこと、退院後の療養生活までを見越した支援をしていきたいと思っております。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

